

## 第6学年 体育科学習指導案

日 時 平成 25 年〇月〇日 (〇) 〇校時  
 対 象 第6学年 〇組 〇〇名  
 学校名 〇〇立〇〇小学校  
 授業者 〇〇 〇〇

### 1 単元名 ボール運動 ゴール型「フラッグフットボール」

### 2 単元の目標

- (1) 運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。
- (2) ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。
- (3) 簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻防をすることができるようにする。

### 3 単元の評価規準

	ア 運動への関心・意欲・態度	イ 運動についての思考・判断	ウ 運動の技能
単元の評価規準	簡易化されたフラッグフットボールのゲームの楽しさや喜びに触れることができるように、ゲームに進んで取り組むとともに、ルールを守って助け合って運動しようとしたり、運動する場や用具の安全に気を配ろうとしたりしている。	ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりしている。	簡易化されたゲームで攻防するためのボール操作やボールを持たないときの動きを身に付けている。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの話し合いに参加している。</li> <li>・ゲームに進んで取り組もうとしている。</li> <li>・ルールを守って、友達と助け合いながらゲームをしようとしている。</li> <li>・用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。</li> <li>・運動する場を整備したり、用具の安全に気を付けたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール型のゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを考えたり、選んだりしている。</li> <li>・チームの特徴に応じた攻め方や守り方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易化されたゲームの中で、チームの仲間に向かってボールを投げることができる。</li> <li>・簡易化されたゲームの中で、相手をかかわしながら、ゴールに向かってボールを持ちながら走ることができる。</li> <li>・簡易化されたゲームの中で、ボールを保持する仲間からボールを受けやすい位置に動くことができる。</li> </ul>

#### 4 「ゴール型ゲーム」の特性

##### (1) 構造的特性 (運動がどのような技術や仕組みで成り立っているか)

- ・ 集団対集団で、ボールを保持したプレイヤーが得点ゾーンに走り込んで得点したり、それを防いだりする攻防を行う運動である。
- ・ ボールを投げる、受ける、走る、かわすなどの個人的技能と作戦を取り入れた攻撃や守備の集団的技能を用いてゲームを行う運動である。
- ・ プレーが区切られているため、その都度作戦会議ができ、作戦の結果をすぐに確認したり、改善策を考えたりできる運動である。

##### (2) 効果的特性 (その運動を行ったことで、どのような力が伸びるか)

- ・ 状況の変化に対応する判断能力や瞬発力を高めることができる運動である。
- ・ 集団対集団で勝敗を競い合うことを通して、協調性や勝敗に対する公正な態度など社会性を育むことができる運動である。
- ・ 作戦を考えたり、仲間と作戦について話し合ったりすることで、思考能力やコミュニケーション能力を高めることができる運動である。

##### (3) 機能的特性 (児童がどのような楽しさに触れることができるか)

- ・ ディフェンスを突破したり、オフェンスを突破させなかったりすることが楽しい運動である。
- ・ 集団対集団で勝敗を競い合い、仲間と助け合って練習やゲームをすることに楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

##### (4) ゴール型の特性を味わうことのできるルールやコート、チーム編成の工夫

###### 【はじめのルール】

- ・ ボールをもって、得点ゾーンに走り込み、得点を得る。
- ・ 前方へのパスは、1回だけ。
- ・ 相手の体に触れない。
- ・ フラッグを手でおさえない。
- ・ 各チーム5人～6人
- ・ 3回ずつの攻撃を1セットとし、2セットの合計得点で勝敗を競う。

###### ルールの追加 (例)

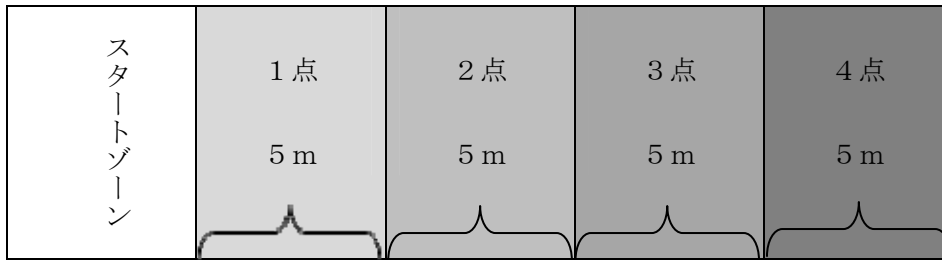
- ・ サイドラインを出たときは、出たところの得点。
- ・ パスミスは、0点。

###### 得点について

- ・ ボール保持者がフラッグを取られた場合、ボールを落とした場合、パスをカットした場合、転倒した場合、その地点によって得点は変わる。
- ・ スタートゾーンからスタートして、手渡しパス、後ろパス、前パス、フェイク、ブロックなど、走る作戦やパスをつなぐ作戦を組み合わせ高得点を目指せるように、前方へ進んだ距離により得点が加算される得点ゾーンを設けた。

## 【コート】

- ・コート (横) 15 m × (縦) 25 m



コートの変更 (例) (横) 20 m × (縦) 25 m

ディフェンスが上手になってきた場合やスペースを見付けることが難しい場合、コート幅を広げる。

## 【用具】

- ・ボール・・・フラッグフットボール ジュニアサイズ  
空気量を7～9割程度と少し柔らかくする。

## 【チーム編成】

どのチームにも勝つ可能性があるように男女混合として、運動能力を平均化したチーム編成を行う。その際、技能面だけでなく、リーダー性、協調性、課題解決能力などに考慮して、バランスよくチーム編成を行う。(なお、リーダー性、協調性、課題解決能力については、普段の行動観察を参考にした。)

## 5 評価計画

「関心・意欲・態度」「技能」「思考・判断」を単元全体でバランスよく評価をしながら、授業を行っていく。その中で、一単位時間ごとに評価の重点を置き、児童一人一人が学習内容を十分に身に付けられるように、指導と評価の一体化を図る。

	1	2	3	4	5	6 (本時)	7
運動への関心、意欲、態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。【観察】</li> <li>・運動する場を整備したり、用具の安全に気を付けている。【観察】</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守って、友達と助け合いながらゲームをしようとしている。【観察】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの話し合いに参加し、ゲームに進んで取り組もうとしている。【観察】</li> </ul>			
運動についての思考・判断		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール型のゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを考えたり、選んだりして工夫している。【観察・学習カード】</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。【観察・学習カード】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。【観察・学習カード】</li> </ul>	
運動の技能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを投げたり、運んだりする動きができる。【観察】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを保持する人からボールを受けるための動きができる。【観察】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを投げたり、運んだりする動きができる。【観察】</li> <li>・ボールを保持する人からボールを受けるための動きができる。【観察】</li> </ul>

6 指導計画（7時間扱い）

段階	知る				深める		
時間	1	2	3	4	5	6（本時）	7
学習活動	<p>1 学習の進め方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れを知る。</li> <li>・準備や片付け方について知る。</li> <li>・補助運動の仕方やカードの使い方を知る。</li> </ul> <p>2 試しのゲームを行う。</p> <p>3 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝つためにはどうしたらよいか考える。</li> <li>・ルール工夫を考える。</li> </ul>	<p>1 挨拶・学習内容の確認・用具の準備を行う。</p> <p>2 準備運動を行う。</p> <p>3 補助運動を行う。</p> <p>4 本時の学習課題の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">第2時の課題：得点できるかな？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">第3時の課題：協力して得点できるかな？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">第4時の課題：大量得点がとれるかな？</div> <p>5 ゲーム①を行う。</p> <p>6 振り返り①を行う</p> <p>7 学んだことを生かしてゲーム②を行う。</p> <p>8 整理運動を行う。</p> <p>9 振り返り②を行う。</p> <p>10 片付けを行う。</p> <p>11 挨拶をする。</p>	<p>1 挨拶・学習内容の確認・用具の準備を行う。</p> <p>2 準備運動を行う。</p> <p>3 補助運動を行う。</p> <p>4 チームの特徴を生かしてゲーム①を行う。</p> <p>5 チームでの振り返りを行う。</p> <p>6 チームの特徴を生かしてゲーム②を行う。</p> <p>7 整理運動を行う。</p> <p>8 振り返り②を行う。</p> <p>9 片付けを行う。</p> <p>10 挨拶をする。</p>				
指導上の留意点	<p>◇安全に気を付けて準備や片付けをするよう指示をする。</p> <p>◇単元を通して「チームの課題を見つけて、それを解決していくこと」「みんなでゲームを楽しむ工夫を考えること」の二つを常に意識するように伝える。</p>	<p>◇補助運動では、基本となる「かわす動き」「フラッグを取ったり、取られないようにしたりする動き」「ボール操作（投げる・捕る）」が身に付くように言葉をかける。</p> <p>◇課題に沿ったよい動きをしている児童やチームを見付け、賞賛の言葉をかける。</p> <p>◇学んだことを生かしながらゲームができるように、前時までに出てきたよい動きや作戦を紹介する。</p> <p>◇安全に気を付けて準備や片付けをするよう指示をする。</p>	<p>◇チームの力を高めるために、教え合ったり、認め合ったりすることができるように指導をする。</p> <p>◇これまで学習したことを生かしてゲームを行うように指導をする。</p> <p>◇チームで動きを高めていけるよう指導する。</p> <p>◇よい動きをしているチームを全体の場で紹介する。</p> <p>◇安全に気を付けて準備や片付けをするよう指示をする。</p>				

## 7 本時の学習（7時間扱いの6時間）

### （1）本時の目標

- 自分のチームの特徴に合った作戦を立てたり、作戦を成功させるための練習を工夫したりすることができる。

### （2）展開

学習活動	○指導上の留意点 ★評価規準
1 挨拶 ・学習内容の確認・用具の準備を行う。 2 準備運動を行う。 3 補助運動を行う。 ・宝取り鬼を行う。 4 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>チームの特徴に応じた作戦で攻めよう！</b> </div> ・前時のゲームの様相から、有効な作成を例示したり、説明したりする。	○学習の見通しをもたせるために、掲示物を活用し、学習の流れを確認できるようにする。 ○よく使う部位をほぐすために、一つ一つの運動を正確に行うように助言する。 ○相手に自分のフラッグをとられないように、身をかわしたり、相手のいない場所に移動したり、駆け込んだりする動きを身に付けられるように助言する。 ○今までの学習内容を振り返り、作戦に生かすように助言する。
5 ゲーム①を行う。(3分×2)×2 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             A－C              B－D           </div> 6 振り返り①を行う。 ・自分たちが考えた作戦がどうだったのか振り返り、次のゲームに向けて改善点を話し合う。 ・動きのよさを共有する。 7 ゲーム②を行う。(3分×2)×2 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             A－B              C－D           </div>	○チームで「だれが」「どこで」「どのような」プレーをするのか明確にするように助言をする。 ○ゲーム中により動きをしている児童を賞賛する。 ○児童同士でチームの動きを見て、教え合ったり、認め合ったりできるように、よいかかわり合いは、全体に紹介する。 ○チームで立てた作戦通りに動いているかを確認する。 ・ゲーム中、うまくいっていないチームには、走るコースを変えたり、パスをする位置を変えたりするように助言する。 ・ゲーム後、うまくいかなかったチームには、なぜうまくいかないかを考えさせる。 ★自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。(観察) ○ゲームを振り返り、うまくいった部分といかなかったことを見付け、自分たちのチームの課題を意識するように助言する。 ○得点をとった児童だけでなく、チームのために自分の役割をしっかりとしている児童を賞賛する。
8 整理運動を行う。 9 振り返り②を行う。 10 片付けを行う。	○使った部位をよくほぐすよう助言する。 ○チームの作戦や動きについて振り返り、次時へつなげるように助言する。 ○安全に気を付けて、協力して片付けを行うように指示をする。